

ファッションは、
過去を振り返ることではなくて、
将来に目を向けることだ

「アナウンサー(米ヴォーグ誌編集長)「ファッションが教えてくれること」より

「ファッション」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。ショーウィンドーの
すてきなドレス、街で目にする奇抜な装い、流行しては消えていくもの…

ファッションは時代を彩り、常に人々を魅了してきました。本展覧会では、
シャネル、クリスチャン・ディオール、ジバンシイのオートクチュール、
ダイアナ妃やハリウッド女優の華麗なドレスに加え、オードリー・ヘップバーン、
ジャクリーン・ケネディ、そしてマドンナらのセレブリティをモデルにした
写真やイラストレーションなど、ファッションを象徴する「ファッション・
アイコン(an Icon of Style)」をキーワードにその魅力に迫ります。米国
ボストン美術館が所蔵する約160点の作品を通して、心躍るファッションの
世界をお楽しみください。

What's
an Icon of
Style?
時代を彩るファッション
—オードリー・ヘップバーン、ダイアナ妃、マドンナ—

2012年3月17日|土| — 5月27日|日|

Event

関連イベント

講演会「ボストン美術館のファッション・アイコン」

講師：ローレン・D.ウイトリー氏(ボストン美術館 染織・衣装部 キュレーター)
日時：3月17日(土) 14:00~15:30
会場：名古屋都市センター11階ホール
定員：150名(当日先着順/聴講料無料 ※逐時通訳付き)

講演会「エレガンスの秘密—オードリー・ヘップバーンとジャクリーン・ケネディ」

講師：原 由美子 氏(ファッションディレクター)
日時：4月14日(土) 14:00~15:30 / 会場：名古屋都市センター14階 特別会議室
定員：100名(当日先着順/聴講料無料)

「ナゴヤファッションコンテスト2011」

受賞並びに優秀作品展示

会場：5階オープンギャラリー
共催：ナゴヤファッション協会



1982年より開催されている「ナゴヤファッション
コンテスト」。その第31回グランプリをはじめ、各賞
受賞並びに優秀作品を「What's an Icon of Style
時代を彩るファッション」展と同時にご紹介します。
世界11ヶ国3,653点の応募作品から選ばれた
作品を通して、若き新進デザイナーの情熱を感じて
いただけることでしょう。

主催＝名古屋ボストン美術館、ボストン美術館
開館時間＝平日：午前10時～午後7時、土・日・祝：午前10時～午後5時[入館は共に閉館時間の30分前まで]
休館日＝月曜日[祝日の場合翌日平日]
入館料＝一般：1,200円(1,000円) シルバー・学生：900円(700円) 中学生以下無料
()内は前売/団体・平日午後5時以降の割引入館料金、シルバーは65歳以上
交通案内＝JR東海道・中央本線/地下鉄名城線/名鉄名古屋本線「金山駅」南口前
お問合せ＝〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1-1
TEL:052-684-0101 FAX:052-684-0738 www.nagoya-boston.or.jp

★印の画像は貸出しできます。
作品のNo.をご連絡ください。
クレジットの表記をお願いいたします。
※★=Photograph © 2012 Museum of Fine Arts, Boston.

<お問合せ先>
名古屋ボストン美術館 広報部
Tel:052-684-0752 Fax:052-684-0738
那須(s-nasu@nagoya-boston.or.jp)
佐々木(e-sasaki@nagoya-boston.or.jp)

Christian Dior クリスチャン・ディオール

Karl Lagerfeld カール・ラガーフェルド

Arnold Scaasi アーノルド・スカージ

Audrey Hepburn オードリー・ヘップバーン

Christian Lacroix クリスチャン・ラクロワ

Pierre Cardin ピエール・カルダン

What's an Icon of Style?

Madonna マドンナ

CHANEL シャネル

Jacqueline Kennedy ジャクリーン・ケネディ

Olivier Theyskens オリヴィエ・ティスケンス

John Galliano ジョン・ガリアーノ

Her Royal Highness Diana ダイアナ妃

Cate Blanchett ケイト・ブランシェット

名古屋ボストン美術館
NAGOYA/BOSTON MUSEUM OF FINE ARTS

1 CREATION

第I章 クリエーション：デザイナーの芸術作品

デザイナーが生み出すファッション・スタイルは、流行の原動力となってきました。本章では、デザイナーの創造性が発揮されるファッション・ショーのドレスを紹介し、選び抜かれた素材と熟練した技術で仕立てられた、夢のようなドレスをお楽しみください。

出品作品 —— ジョン・ガリアーノ(クリスチャン・ディオール)、カール・ラガーフェルド(シャネル)、アレクサンダー・マックイーン(ジバンシイ)、山本耀司、スカージほか



①アーノルド・スカージ
(アンサンブル)
1958年秋冬★

③山本耀司 [ヨウジヤマモト]
(ドレス)2008年春夏
©Yohji Yamamoto★

②カール・ラガーフェルド(シャネル社)
(イヴニング・ドレス)2005年秋冬
©Chanel★

④クリスチャン・ラクロワ(ジャン・パトゥ社)
(ドレス「目隠し鬼さん」)
1987年春夏★

⑥アーノルド・スカージ
(スケッチブックのページ)
1962年春★

⑤オリヴィエ・ティスデクス(ロシャス社)
(イヴニング・ドレス)2005年春夏★

ファッション・ショーの世界 ファッション・ショーは、デザイナーが上流階級の顧客に向けてオートクチュール(高級仕立て服)ドレスを紹介するために始まりました。今ではブレタポルテ(高級既成服)やメンズ服のコレクションが、パリ、ロンドン、ニューヨーク、ミラノをはじめ世界各地で開催されており、未来の流行を占うものとして多くのメディアが注目しています。

※ドレスに関しては発表されたコレクション名を表記しています。

2 COLLABORATION

第II章 コラボレーション：デザイナーとセレブリティ

女優や有名人のファッションは、人々の注目を集め、憧れの的となってきました。本章では、ダイアナ妃やハリウッド女優たちのドレスを展示します。セレブリティの存在感を高める上でひととき大きな役割を果たしたきらびやかなファッションをご覧ください。

出品作品 —— クリスチャン・ディオール(ケイト・ブランシェット着用)、シャネル(ウィノナ・ライダー着用)、スカージ(ブッシュ元大統領夫人着用)、鳥丸軍雪 [GNFYUKI] (ダイアナ妃着用) ほか



鳥丸軍雪 [GNFYUKI]
(ドレス) (ダイアナ妃着用)
1986年5月12日 皇居にて
[Photo by Tim Graham/
Tim Graham Photo Library/Getty Images]



ノーマン・ノレル
(イヴニング・ドレス) (クリスティン・デヴィス着用)
2010年5月27日
映画「セックス・アンド・ザ・シティ2」
プレミア(ロンドン)にて
1960年代初期
©Rune Hellestad/Corbis/amanaimages



ジョン・ガリアーノ
(イヴニング・ドレス) (ケイト・ブランシェット着用)
1999年3月21日 第71回アカデミー賞にて
[Photo by Ke.Mazur/
WireImage/Getty Images]



⑦ユーサフ・カーシュ
(ジャクリン・ケネディ)1957年
©Estate of Yousuf Karsh★



⑧(1997年オートクチュール・
コレクションのスケッチ (no.68))
(シャネル社)1997年
©Chanel★



カール・ラガーフェルド
(イヴニング・ドレス) (ウィノナ・ライダー着用)
1997年3月24日 第69回アカデミー賞にて
[Photo by Ke.Mazur/
WireImage/Getty Images]

レッド・カーペットの競演 アカデミー賞授賞式は世界中の映画スターが集う、きらびやかな祭典として知られています。とりわけ着飾った女優たちが通る会場入口前は、赤い絨毯が敷かれていることから「レッド・カーペット」と呼ばれています。このレッド・カーペットで見せる女優たちの着こなしは受賞の結果と同様大きく報じられるため、女優への評価や好感度を高めると同時に、ドレスを提供したブランドにとってはかけがえのない宣伝効果があります。

Photographs © 2012 Museum of Fine Arts, Boston. All rights reserved.

3 RE-CREATION

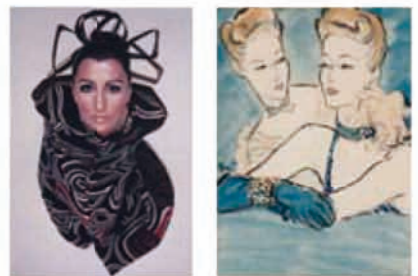
第III章 リクリエーション：ファッション写真とイラストレーション

ファッション雑誌に掲載される写真やイラストレーションは、ファッションのイメージを世界中に伝える強い影響力をもっています。本章では、1920年代から近年までのファッション写真やイラストレーションを通して、ファッションのイメージの変遷をたどっていきます。

出品作品 —— アーヴィング・ペン、リチャード・アヴェドン、ウィリアム・クライン、ハーブ・リッツ、ヘルムート・ニュートン、森山大道ほか



⑨ハーブ・リッツ
(マドンナ (トゥルー・ブルー))1986年
©Herb Ritts Foundation★



ヒロ(アルベルタ・ティップツィ、
モデル、ニューヨーク)
1966年 ©Hiro

⑩エリック
(「青い服を着た2人の女性」)
1950年★



⑫森山大道
(November)2004年
©Daigo MoriYama★



⑪ウィリアム・クライン
(シモーヌ+ニーナ、ローマ、スパーニャ広場 (ヴォーグ誌))1960年
©William Klein Courtesy Howard Greenberg Gallery★



⑬森山大道
(November (#7))2006年
©Daigo MoriYama★

「シモーヌ+ニーナ」撮影秘話 横断歩道を横切る2人の女性。ストライプのリボンが黒と白のドレスにアクセントを加え、縞柄のグラフィック・デザインのような面白さを与えています。この作品は、ローマの街中をモデルに歩いてもらい、それを隠し撮りのように撮影したものです。エレガントに装ったモデルたちの姿に多くの人が振りかえり、声を掛けたそうです。

■ 広報用写真 申込書 ■

■ 広報用写真（貸出画像はすべてデータです）

What's an Icon of Style? 時代を彩るファッション -オードリー・ヘップバーン、ダイアナ妃、マドンナ-		
①	アーノルド・スカージ 《アンサンブル》1958 年秋冬	(1M)
②	カール・ラガーフェルド(シャネル社) 《イヴニング・ドレス》2005 年秋冬 ©Chanel	(1M)
③	山本耀司(ヨウジヤマモト)《ドレス》2008 年春夏 ©Yohji Yamamoto	(1M)
④	クリスチャン・ラクロワ(ジャン・パトゥ社) 《ドレス“目隠し鬼さん”》1987 年春夏	(1M)
⑤	オリヴィエ・ティスケンス(ロシャス社)《イヴニング・ドレス》2005 年春夏	(1M)
⑥	アーノルド・スカージ 《スケッチブックのページ》1962 年春	(1M)
⑦	ユーサフ・カーシュ 《ジャクリーン・ケネディ》1960 年 ©Estate of Yousuf Karsh	(1M)
⑧	《1997 年オートクチュール・コレクションのスケッチ(no.68)》(シャネル社) 1997 年 ©Chanel	(1M)
⑨	ハーブ・リッツ 《マドンナ『トゥルー・ブルー』》1986 年 ©Herb Ritts Foundation	(1M)
⑩	エリック 《青い服を着た 2 人の女性》1950 年	(1M)
⑪	ウィリアム・クライン 《シモーヌ+ニーナ、ローマ、スパーニャ広場で(ヴォーグ誌)》1960 年 ©William Klein Courtesy Howard Greenberg Gallery	(1M)
⑫	森山大道 《Novembre》2004 年 ©Daido Moriyama	(1M)
⑬	森山大道 《Nobembre(#7)》2006 年 ©Daido Moriyama	(1M)
裏表紙	ナゴヤファッションコンテスト 2011 (提供: ナゴヤファッション協会)	
合計		枚

※1MB 以上の画像をご希望の場合は下記までご相談ください。

貴紙・誌名	担当者ご氏名	
	名字	名前
〒□□□-□□□□ ご住所	会社名	
	部署・所属	
TEL	FAX	
* データ送付先メールアドレス		
掲載予定号	発売日	

* 掲載紙・誌を下記問い合わせ先までご送付いただきますようお願いします。

What's an Icon of Style? 時代を彩るファッション展 お問い合わせ先

名古屋ポストン美術館 広報担当: 佐々木(e-sasaki@nagoya-boston.or.jp)、那須(s-nasu@nagoya-boston.or.jp)

〒460-0023 名古屋市中区金山町 1-1-1

TEL:052-684-0752 FAX:052-684-0738

【写真使用にあたってのお願い事項】

1. 著作権(クレジット)を必ず記載して下さい。

a. 個別に著作権表示のあるもの(©マークのあるもの)は、©マーク以降 + 下記のクレジットを記載

b. 個別に著作権表示のないものは、下記のクレジットを記載

Photograph©2012 Museum of Fine Arts, Boston. もしくは Photograph© 2012 ポストン美術館

2. 作品は全図で使用してください。部分使用や作品に文字や他のイメージを重ねることはできません。